

デシディム
町民参加型合意形成プラットフォーム「Decidim」運用開始
～住民発のアイデアを提案できる機能を活用した運用は全国初～

与謝野町では、第2次与謝野町総合計画において「住民が主人公となるまち」の実現を掲げ、住民と行政との対話によるまちづくりや、まちづくりへの参画機会の充実に向けた取り組みを進めており、今年度においては、オンライン上で関係人口を含む多様な町民の議論を経て施策や計画等をつくりあげる仕組みとして、町民参加型合意形成プラットフォーム「Decidim（デシディム）」の構築を進めてきました。このたび、下記のとおり、プラットフォームの運用を開始することになりましたのでお知らせします。

記

1 名称 よさのみらいトーク（URL <https://yosano.makeour.city/>）
※WEB サイト画像がご入用の場合は担当までご連絡ください。



2 開設日時 令和3年12月20日（月）正午
※開設日時まではWEB サイトは表示されませんのでご注意ください。

3 事業概要

(1) ワークショップの開催

プラットフォームの周知や活用方法の検討、合意形成過程の体験を目的としたワークショップを下記のとおり開催予定。①③の参加者については一般公募します。

- ① 令和4年1月 関係人口向けワークショップ
- ② 令和4年2月 宮津天橋高校加悦谷学舎向けワークショップ
- ③ 令和4年3月 町民向けワークショップ

(2) プラットフォームを活用したアイデア募集（実証実験）

与謝野町役場職員を対象にしたワークショップを令和3年11月17日に開催した結果、「町の花・木の普及啓発・活用方法に関するアイデア募集」において活用する提案があり、アイデアの応募方法の一つとして本プラットフォームを活用することになりました。募集期間は12月24日（金）から令和4年2月10日（木）まで。

なお、本プラットフォーム上で町民自らがアイデアを提案できる運用は「全国初」となります。（これまでは行政側からの提案等に対する参加者同士の意見交換・議論を実施）

4 Decidim（デシディム）とは

Decidimは、「我々で決める」を意味するカタルーニャ語にちなんで、2016年にバルセロナ市で誕生した市民参加型合意形成プラットフォーム。世界各地で180以上の組織、32万ユーザーが活用、160以上のプロジェクトが生まれており、日本においては、2020年10月の兵庫県加古川市への導入を皮切りに、国・自治体のプロジェクトをはじめ、民間の取り組みでも活用され始めています。自治体での導入は与謝野町で7例目。

【取材・問い合わせ先】

与謝野町企画財政課（担当：松本）
TEL：0772-43-9015